

査読の御礼

山梨医科学雑誌 37 巻（2022 年）に投稿された論文の査読をお願いした方々です。ご多忙中にもかかわらず、熱心なご査読、誠にありがとうございました。（五十音順、敬称略）

川 端 健 一	喜多村 和 郎	近 藤 哲 夫	齊 木 雅 史
三 枝 岳 志	原 田 大 希	三 井 貴 彦	安 田 和 幸

編集後記

COVID-19 の感染が日本に入り流行が始まってから 3 年が経過しようとしています。年末からの第 8 波では山梨県でも多くの方が罹患し、身近でも多くの方が罹患したり、濃厚接触者となったりと、職場に來られない状況がしばしばありました。発熱外来や入院対応などにおいても、これまで以上に先生方のご負担も多かったものと思います。一方で、COVID-19 感染の拡大を機に、会議だけでなく診療においてもオンラインの環境が進んだものと思います。大学教育におきましても、学生実習が十分に行えない状況が続き、さまざまな工夫がされてきたと思います。

本号におきまして、COVID-19 に関連した発熱外来の現状やオンラインによる臨床実習に関する論文を含む 3 つの原著論文の投稿をいただきました。また、総説として、佐藤明先生より「循環器疾患における遠隔診療：現状と今後の展望」、森口武史先生より「敗血症の病態生理と疾患概念の変遷」と題した投稿をいただきました。193 回～197 回の山梨大学医学会例会において、各分野でご活躍され新たに赴任された 5 人の先生方の教授就任講演が行われ、その要旨が掲載されております。

令和 3 年度山梨県医師会優秀賞として金井宏明先生、令和 3 年度若手研究者表彰奨学金として佐野史和先生が受賞され、受賞記念の要旨が掲載されております。今後の益々の活躍が期待されます。

学会報告として、第 2 回日本眼科 AI 学会を主催された柏木先生より、眼科分野において急速に進む AI をテーマにしたこと、また第 6 回日本アレルギー学会関東地方会を主催された中尾先生より、企業との基礎研究におけるコラボレーションのシンポジウムを生まれ、コロナ禍のなかでも主催された学会が盛況であったことが報告されております。

最後に、本号発刊にあたり、投稿いただいた先生方、お力添えをいただいた編集委員の先生方、事務の方および査読者の先生方に感謝申し上げます。
(編集委員：櫻井大樹)

山梨医科学雑誌 第 37 巻 第 1 号
令和 5 年 2 月 15 日

編集・発行 山梨大学医学会
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 番地
山梨大学内 Tel. 055-288-1168 (内) 3359

印刷所 株式会社 東京プレス
〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-18 3F
Tel. 03-5982-9291